

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画又は地域公共交通計画に基づく事業)

令和7年1月23日

協議会名: 宇多津町地域公共交通活性化協議会

評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点 (特記事項を含む)
宇多津町	【宇多津町コミュニティバス】 ・南北線(右回り) ・南北線(左回り) ・東西線(右回り) ・東西線(左回り) マルナカスーパーセンター～宇多津町役場～マルナカスーパーセンター(JR宇多津駅含む)	・令和5年10月から坂出市循環バスが宇多津町内への乗り入れを開始したことに伴い、乗り継ぎ方法や乗り継ぎ時刻を案内するマイ時刻表のフォーマットを作成した。窓口相談に来られた方に、乗り継ぎ時間等を説明の上、乗降停留所・時刻を記入し、お渡ししている。また、乗り継ぎ方法を記載した時刻表(チラシ)を作成し、町広報での周知の他、坂出市内の薬局にチラシ・マイ時刻表を持参し、設置及び乗り方のわからない人へマイ時刻表に記入していただけるよう依頼した。 ・民間の経路検索サービス等へ情報提供を行い、利便性向上を図った。 ・利用者のニーズにあった運行ルート・ダイヤの再編について検討を行った。	A 計画通り事業は適切に実施された。	【目標達成率】122.2% (目標:35人/日) 【利用者数】42.8人/日平均 (対前年比:134.5%) 【収支率】15.0% (対前年比: +6.0%) 【1便平均利用者数】 ・南北コース右回りルート 5.1人 ・南北コース左回りルート 2.9人 ・東西コース右回りルート 3.3人 ・東西コース左回りルート 4.1人 利用者数1日平均35人の目標に対し、42.8人と目標を上回った。令和4年5月の運行ルート・時刻表の変更、同年7月の通園支援事業開始以降、増加傾向が続いている。これも、利用動向、ならびに利用者のニーズを把握するとともに、利用者ニーズに対応したきめ細かなサービスの提供などを行ってきた成果であると考えている。	今後も利用動向、ならびに利用者のニーズ(医療機関への通院、通勤・通学ニーズ、買い物など)を把握するため、アンケートや聞き取り調査を実施し、利用者ニーズに対応した時刻表・運行ルートの整備に努める。また、利用者が利用しやすい、わかりやすい公共交通になるよう努める。

事業実施と生活交通確保維持改善計画(又は地域公共交通計画)との関連について

令和7年1月23日

協議会名：	宇多津町地域公共交通活性化協議会
評価対象事業名：	地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金(香川県)
地域の交通の目指す姿 (事業実施の目的・必要性)	宇多津町は、瀬戸内海に面した香川県のほぼ中央にあり、東は坂出市、西は丸亀市に囲まれた人口18,342人(令和6年4月1日現在)、総面積8.10km²の町です。北部に市街地、南部に田園地帯が広がり、これを取り囲むように青の山、聖通寺山、角山などの山々が位置しています。本町の市街地は古くからの伝統と趣を残す既成市街地と、かつての塩田跡地を埋め立てて形成された新宇多津都市の特徴ある2つの顔を有しています。 本町の交通機関は、JR宇多津駅を中心とし、コミュニティバス、タクシーにより構成される公共交通機関網が広がっており、令和2年10月より試行運行中の宇多津町コミュニティバスは、主に車を運転できない高齢者等の多い南北線沿線の住民にとって、医療機関、駅周辺及び商業施設の多い北部(東西線沿線)までの移動手段として、また生活に必要不可欠な交通機能となっています。 今後、さらなる高齢化が進んでいく中において、交通弱者の公共施設及び病院、スーパー等の商業施設への移動手段の確保が課題であり、これらの解決を目的として、地域公共交通確保維持事業により、効率的かつ効果的な公共交通ネットワークを確保・維持していくことが重要となり、宇多津町コミュニティバスの路線を確保・維持することで、住民の生活交通手段を存続させていくことが必要であります。

宇多津町地域公共交通活性化協議会

地域内フィーダー系統
事業評価(令和6年度)

宇多津町基礎データ

人口: 18,342人(令和6年4月1日現在)
面積: 8.1平方キロメートル

地域の交通の目指す姿(事業実施の目的・必要性)

別添1-2参照

宇多津町における主な公共交通概要

○鉄道・軌道 JR予讃線

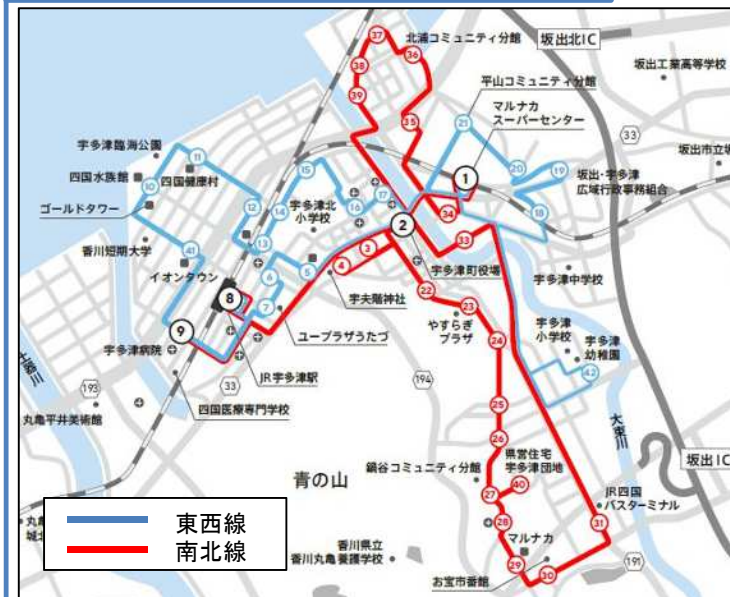
○バス
(幹線)

- ・JR宇多津駅を起点とし、丸亀市と宇多津町主要施設を経由する丸亀市コミュニティバス
- ・マルナカスーパーセンターを起点とし、坂出市主要施設と宇多津町を経由する坂出市循環バス

(フィーダー)

- ・JR宇多津駅及びマルナカスーパーセンターで幹線につながる宇多津町コミュニティバス

宇多津町の公共交通ネットワーク図



地域内フィーダー系統
事業評価(令和6年度)

香川県 宇多津町 四国運輸局 四国地方整備局 琴参バス
(株) (有)大和タクシー 四国旅客鉄道(株) 学識経験者 香川県警
察坂出警察署 香川県中讃土木事務所 宇多津町老人クラブ
連合会 宇多津町自治会連合会 宇多津町身体障害者協会
宇多津町民生委員児童委員協議会

利用動向及び利用者のニーズを把握するため、アンケートの実施回数を増やし、利用者ニーズへ対応した時刻表・運行ルート
の整備に努める。

- ・宇多津町コミュニティバスの運行により、交通空白地帯を解消し、高齢者等の日常生活に必要な移動手段が確保される。

・公共交通の連携により、乗り継ぎの利便性が向上し、高齢者のみならず、移動手段を持たない人たちの移動を支える。

Map of the Utsunomiya City area showing the proposed bus routes. The map includes the Tone River (利根川) and Sagami River (相模川). Key locations marked include Utsunomiya Station (宇多津駅), Utsunomiya City Hall (宇多津市役所), and various schools and community centers. The routes are color-coded: blue for the 'East-West Line' (東西線) and red for the 'North-South Line' (南北線). The routes are numbered 1 through 37. A legend in the bottom left corner identifies the lines.

Legend:

- 東西線 (East-West Line) - Blue line
- 南北線 (North-South Line) - Red line

「定量的な目標・効果」達成のための具体的な取組

- ・令和5年10月から坂出市循環バスが宇多津町内への乗り入れを開始したことに伴い、乗り継ぎ方法や乗り継ぎ時刻を案内するマイ時刻表のフォーマットを作成した。窓口で相談に来られた方に、乗り継ぎ時間等を説明の上、乗降停留所・時刻を記入し、お渡ししている。また、乗り継ぎ方法を記載した時刻表(チラシ)を作成し、町広報での周知の他、坂出市内の薬局にチラシ・マイ時刻表を持参し、設置及び乗り方のわからない人へマイ時刻表に記入していただけるよう依頼した。
- ・利用者のニーズにあった運行ルート・ダイヤの再編を行うため、令和6年8月に移動の実態やバスのニーズを調査する住民アンケート調査を実施した。(無作為3,000人抽出)

自己評価

事業実施の適切性

計画通り事業は適切に実施された。

「定量的な目標・効果」の達成状況

- 【目標達成率】122.2% (目標:35人/日)
- 【利用者数】42.8人/日平均 (対前年比:134.5%)
- 【収支率】15.0% (対前年比: +6.0%)

【1便平均利用者数】

- ・南北コース右回りルート 5.1人
- ・南北コース左回りルート 2.9人
- ・東西コース右回りルート 3.3人
- ・東西コース左回りルート 4.1人

利用者数1日平均35人の目標に対し、42.8人と目標を上回った。令和4年5月の運行ルート・時刻表の変更、同年7月の通園支援事業開始以降、増加傾向が続いている。これも、利用動向、ならびに利用者のニーズを把握するとともに、利用者ニーズに対応したきめ細かなサービスの提供などを行ってきた成果であると考えている。

今後の事業に向けた改善点

今後も利用動向、ならびに利用者のニーズ(医療機関への通院、通勤・通学ニーズ、買い物など)を把握するため、アンケートや聞き取り調査を実施し、利用者ニーズに対応した時刻表・運行ルートの整備に努める。また、利用者が利用しやすい、わかりやすい公共交通になるよう努める。

その他PRポイント

- ・民間の経路検索サービス等へ情報提供を行い、利便性向上を図った。